

彼女は、きっと、
あなたのそばにいた



あんのこと

河合優実 佐藤二朗 稲垣吾郎

河井青葉 広岡由里子 早見あかり

監督・脚本:入江悠

製作総指揮:木下直哉 企画:鶴賀福惠 エグゼクティブラディューサー:武部山実子 プロデューサー:谷川由希子 開友彦 佐藤咲香苗 費澤:安川幸輔 音楽プロデューサー:津島義一
撮影:浦田秀徳 照明:常谷良男 演音:藤丸和也 編集:佐藤塔 音響効果:大河原洋 美術:塙川節子 スタジオ:田口憲 ヘアメイク:大七理恵 金田順子

助監督:岡部慎也 キャスティング:ブルックター:影野剛 製作担当:安達守 ラインプロデューサー:山田真史

製作:木下グループ 鈴牛俱楽部 製作プロダクション:コギワーツ 配給:キノフィルムズ  © 2003「あんのこと」製作委員会 

「少女の壮絶な人生を綴った新聞記事」を基に描く、衝撃の人間ドラマ

はじめて、
生きよう、と思った。

窓を開け、風を頬に受けて、
その先に広がる世界を肌で感じた。
そんな彼女の心を、
現実が容赦なく削り取っていく。

21歳の主人公・杏は、幼い頃から母親に
暴力を振るわれ、十代半ばから壳春を強いられて、過酷な
人生を送ってきた。ある日、覚醒剤使用容疑で取り調べを受けた
彼女は、多々羅という変わった刑事と出会う。
大人を信用したことのない杏だが、なんの見返りも求めず就職を支援
し、ありのままを受け入れてくれる多々羅に、次第に心を開いていく。
週刊誌記者の桐野は、「多々羅が薬物更生者の自助グループを私物化し、
参加者の女性に関係を強いている」というリーフを得て、慎重に取材を進めて
いた。ちょうどその頃、新型コロナウイルスが出現。杏がやっと手にした
居場所や人とのつながりは、あっという間に失われてしまう。行く
手を閉ざされ、孤立して苦しむ杏。そんなある朝、身を
寄せていたシェルターの隣人から思いがけ
ない頼みごとをされる——。



透徹した眼差しから浮かぶ この社会の歪み、生の美しさ

2020年の日本で現実に起きた事件をモチーフに、『SRサイタマノラッパー』シリーズや『AI崩壊』の入江悠監督が映像化。19年のデビュー以来、数多の映画賞に輝き、TBS「不適切にもほどがある」での熱演が話題となった最注目俳優・河合優実が、底辺から抜け出そうともがく主人公・杏を演じる。また、杏に更正の道を開こうとするベテラン刑事に佐藤二朗。

2人を取材するジャーナリストに
稻垣吾郎と、実力派が脇を固めた。

さらに制作陣には、第75回カンヌ国際
映画祭で「カメラドール特別表彰」を受賞
した話題作『PLAN 75』(早川千絵監督)
のスタッフたちが集結。本作は杏という女性を
通し、この社会の歪みを容赦なく突きつける。同時に、単なる社会派ドラマの枠を超えて、生きようとする
彼女の意志、その目がたしかに見た美しい瞬間も描き出
す。そして静かに、観客に訴えかける。杏はたしかに、あなたの
傍にいたのだと。

